

進路 **だ** **よ** **り** No. 28

保護者の方にも必ず見せてください

貝塚市立第二中学校
2013年9月13日発行

学校説明会・体験入学等の案内 vol.25

公立高等学校等

◎大阪教育大学附属平野校舎

○入試日程 学力検査 2月12日(水) 合格発表 2月15日(土) 9時
(大阪の私立と別日程で実施されます)

○学校説明会 10月27日(日) 10:30~12:00

【10月25日(金)までに、個人でファックスにて申込み。希望者は申込用紙を担任まで取りに来てください】

私立高等学校

◎建国高等学校 特進コース・総合(韓国・英米文化)コース

○学校説明会 10/26、11/16、12/7(土) 13:30~

○体験学習 <<韓国語>>10/26(土) <<英語>>11/16(土) 10:30~

○韓国語教室 9/21、9/28、10/12、10/26、11/9、11/23(土) 10:30~

【申し込みは、担任の先生まで。メールで個人申込みも可能 keonguk@keonguk.ac.jp】

その他

◎第27回大阪私立中学校高等学校「芸術文化祭典」 場所：NHK大阪ホール

日時：10月5日(土) 14:30 舞踊関係部門

10月6日(日) 14:30 音楽関係部門 【入場無料】

根拠のない自信を持て！

前回に続いて、脳科学者の茂木健一郎さんと学生の学習会の続きの話です。茂木さんは学生に「根拠のない自信を持つように」アドバイスします。

たとえば、赤ちゃんは自信が先にあって、ハイハイから立ち歩きするわけではありません。そんな難しいことをもし考えだしたら、この世の中は怖くて歩き出すことはすらできませんね。もし「根拠のない自信」がなかったとしたら、「赤ちゃんのままでいて、安全な状態でいつまでも大人に面倒をみてもらおう」とすることでしょう。

赤ちゃんのように「根拠のない自信」があると、何事にも前向きに取り組めますし、何をやってもうまくいくような、例え失敗しても、困っても、「なんとかなる」と思えたり、どこから助けが得られると感じることができたり、何かしらの心強さを感じるようになります。逆に、「～だから自信がない」という「理由をつけて自信のない状態」は、やる気を失わせ、なにをやってもだめというように、常に考え方が否定的で、理屈ばかりで前に進めない状態になってしまいます。

※

今でも受験勉強や授業に真剣に取り組めない人は、「勉強は苦手だ」「どうせやっても無理だ」「こんなことをやっても役に立たない」などと、変な根拠（理由・理屈）をつけて、自分で自分の行動にブレーキをかけていませんか？ つまり、自分の意識しないところで、「もしやっでできなかつたら自分が傷つくから、やらない方がまし」という悪循環に陥っている場合が多いのです。それは、今までの経験の中で、失敗して傷ついたことから立ち直っていないことも原因の一つです。本当は、失敗は人を成長させるために絶対に必要な栄養なのに、それを逆に害毒のように捉えてしまっている影響です。一度も転ばずに歩けた赤ちゃんはいないのに、私たちはいつかそれを忘れてしまっています。

茂木さんは、「若い人は根拠のない自信を持て。そしてその上で、後からそれを裏付ける努力をしろ。」と繰り返します。今の若者が陥っているのは、この逆です。「努力してないから、自信がない。だからできないだろうから、やらない」です。この悪循環から脱するには、とにかく「根拠のない自信を持って努力し続ける」ことしかないと言います。やる中でしか、自信は湧いてこないのです。そしてもし失敗があったとしても、それは次に進むための必要な学びの機会だし、人生の栄養だと信じることです。スポーツで一流選手になった人や、ビジネスで大成功した人を調査すると、ほとんどの人は「根拠のない自信」を持って、「努力すれば、なんとかなる～♪」と楽観的に長期計画で仕事を行っているそうです。

あなたも「勉強もやり続ければ、なんとかなる～♪」と、楽観的に前向きに、そして気長に努力を続けてみませんか！？